

# アジアサイエンスキャンプ 2018 参加者募集

## ■概要

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、2018年8月3日から8月9日にインドネシアで開催される第12回アジアサイエンスキャンプに派遣する物理、化学、生物学、数学分野の科学に興味を持つ、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、大学校の生徒または学生(高校2年―大学2年相当)を募集します。

## ■アジアサイエンスキャンプとは

アジアサイエンスキャンプ(ASC)は、ノーベル賞学者や世界のトップレベルの研究者による講演、講演者がリードするディスカッションセッションなどにより、アジアからの参加生徒・学生が直接科学の面白さを体験し、また生徒・学生同士の交流を深める場です。2005年のリンダウ会議の際、小柴昌俊博士(2002年ノーベル物理学賞受賞者)とYuan T. Lee 博士(1986年ノーベル化学賞受賞者)の間で、アジアの若者のためにトップレベルの学者と若い生徒・学生の交流プログラムを始めたいと発案されました。これまで、台湾・台北(2007年)、インドネシア・バリ(2008年)、日本・つくば(2009年)、インド・ムンバイ(2010年)、韓国・テジョン(2011年)、イスラエル・エルサレム(2012年)、日本・つくば(2013年)、シンガポール(2014年)、タイ・パトゥムターニー(2015年)、インド・バンガロール(2016年)、マレーシア・カンパー(2017年)で開催されています。

## ■アジアサイエンスキャンプ 2018(Asian Science Camp 2018)

第12回のアジアサイエンスキャンプは2018年8月3日から8月9日までインドネシア・マナドで開催されます。プログラムはすべて他国の生徒・学生とともに英語で学びます。JSTは日本からの派遣の事務局として、アジアサイエンスキャンプ 2018 への日本からの参加者の募集と選抜、マレーシアの組織委員会への参加登録を行います。世界のトップレベルの科学者から講義を受けて、アジア各国の仲間たちと出会うことができるチャンスです。参加を希望される方は、下記の募集要項にしたがって奮ってご応募ください。

## ☆アジアサイエンスキャンプ 2018(インドネシア)ホームページ

(開催国事務局が未だ公開しておりません。公開され次第、情報を更新します。)

講師やプログラムの内容は、開催国より随時発表されます。

## ■アジアサイエンスキャンプ 2018 参加者募集要項

アジアサイエンスキャンプ 2018 に日本派遣団の一員として参加する、高校生の派遣員と、高校生参加者をリードする大学生の派遣員リーダーを募集します。

※本募集は平成30年度政府予算の成立を前提としています。また予算の成立状況の他、開催国の事情等によって実施スケジュール・内容の変更・調整が生じる場合があることを予めご了承ください。

### 派遣期間

2018年8月2日(木)～8月10日(金) (予定)

※ 上記は、アジアサイエンスキャンプの開催期間(2018年8月3日～8月9日)に加え、日本出発前の集合、渡航、および帰国後の解散の時間が含まれています。交通手配等により、派遣期間が若干変更される場合があります。

### 募集人員

派遣員および派遣員リーダー 計 20 名

※ 高校生の派遣員を主として募集し、大学生の派遣員リーダーを若干名募集します。

### 応募資格

派遣員および派遣員リーダーとも、それぞれ(1)～(3)のすべてを満たす必要があります。なお、プログラムはすべて英語で行われるため、CEFR(注) でB1ランク(英検2級程度)以上の英語力を持つことが望ましいです。また、インドネシアへの渡航にはパスポートの残存が入国時6ヶ月以上残っている必要がありますので、パスポートを持っていない場合と残存が入国時6ヶ月以下の方は、5月末までにパスポートを取得もしくは更新できるようにしてください。

(注)CEFR:Common European Framework of Reference for Languages の略称。語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格として、欧米で幅広く導入されつつある。

### 【派遣員】

- (1)サイエンスキャンプ開始時点で、日本国内の高等学校または高等専門学校<sup>2</sup>の2～3年生と中等教育学校の後期課程の5～6年生かつ年齢が16歳から21歳までであること。
- (2)自然科学(物理、化学、生物学)または数学に高い意欲と秀でた能力を有し、英語による議論、講演など全日程に参加できる者。
- (3)日本派遣団の一員として相応しい行動が取れる者。

### 【派遣員リーダー】

- (1)サイエンスキャンプ開始時点で、日本国内の高等専門学校<sup>2</sup>の4～5年生または大学、大学校の1～2年生かつ年齢が16歳から21歳までであること。
- (2)自然科学(物理、化学、生物学)または数学に高い意欲と秀でた能力を有し、英語による議論、講演など全日程に参加できる者。
- (3)日本派遣団の一員として相応しい行動が取れ、派遣員をリードする役割を担える者。

## 提出書類

※ 提出書類は、原則パソコンでMicrosoft Word等で作成をお願いいたします。難しい場合は、応募書類の請求時にアジアサイエンスキャンプ事務局までご相談下さい。

### (1) 【必須】アジアサイエンスキャンプ 2018 参加申込書

用紙は、応募手順(p6)の手続きに従い、アジアサイエンスキャンプ事務局まで請求して下さい。

### (2) 【必須】成績証明書

※ 現在所属する学校(大学1年生の場合は卒業時)の成績証明書または通知簿の写し。

※ 日本語または英語で記載しているもの。

※ 評価基準が 5 や 10 段階評価等以外で不明確な場合は、評価基準を簡単に付箋等に明記し、ご提出ください。

### (3) 【必須】推薦書 (A4用紙 2 ページ以内、様式自由、日本語または英語で記載)

#### ① 担任・指導教員等(英語の能力や科学に対する興味・意欲について)

- 現在所属する学校または高校時代の担任、あるいは指導教員による推薦書。
- 推薦書には、1)英語の能力(読み書き、英会話及び総合評価)、2)科学に対する興味、3)ASC プログラムに参加する意欲、の三つの観点から記載してもらってください。

#### ② 学外活動の指導者・関係者(学外活動における積極性や活動実績について)

- 現在または高校時代の学外活動(ボランティア活動、地域活動、科学コンテスト出場等の他、生徒会活動・部活動など課外活動も構いません)の指導者・関係者(活動の先輩、OB・OG 等でも構いません)による推薦書。
- 推薦書には、1)活動における積極性・協調性、2)取組の実績、3)ASC プログラムに参加する意欲、の三つの観点から記述してもらってください。

※ 家族による推薦、自己推薦は不可。

※ ②学外活動の指導者等が、①の担任・指導教員等と同一の場合は、お手数ですが①②の別個に推薦書を得て下さい。ただし、応募書類としての推薦書は、指導者からの評価と共に、応募者が多方面と信頼関係を構築できていることを確認するため求めています。可能なかぎり、別個の関係者より取得して下さい。

※ 課題活動に参加されていない場合、推薦書は①のみご提出ください。

### (4) 【必須】英語関連の証明書

英検、TOEIC、TOEFL、GTEC、IELTS、BULATS等の証明書の写しを添付。

※ 本募集への応募は、CEFRでB1ランク(英検2級程度)以上の英語力を持つことが望ましいです。詳しくは、応募資格(p2)をご確認下さい。

※ 各資格・検定試験とCEFRの対応は、各資格・検定試験の実施団体が、ホームページ等で公開しています。不明な場合は、アジアサイエンスキャンプ事務局までお問い合わせください。

## 提出課題

※ 提出課題は、原則パソコンでMicrosoft Word等で作成をお願いいたします。難しい場合は、応募書類の請求時にアジアサイエンスキャンプ事務局までご相談下さい。

### (A) アジアサイエンスキャンプ講義動画の視聴による課題

応募者は、これまでに行われたアジアサイエンスキャンプ講義(以下、「ASC 講義」といいます)から、下記のいずれか一つの講義動画を全編視聴し、課題①および課題②を提出して下さい。

#### 【講義動画】

①	物理(ASC2017)David Jonathan Gross(2004年ノーベル物理学賞) 「The Frontiers of Fundamental Physics.」
②	生化学(ASC2017)Richard J. Roberts(1993年ノーベル生理学・医学賞) 「Why You Should Love GMOs.」
③	化学(ASC2015)Ada Yonath(2009年ノーベル化学賞) 「Sustainable Transformation of Human Society.」
④	数学(ASC2015)Vladimir Voevodsky(2002年フィールズ賞) 「How I became interested in foundations of mathematics.」

※ 動画はインターネットで公開されています。課題の対象となる動画の URL は、応募手順(p6)の手続きに従い、事務局に応募資料の請求を頂いた方に、折り返しご連絡します。

※ 視聴する動画は、自由に選択してください。(分野毎の定員などはありません。また、ご自分の興味やバックグラウンドに関わらず、英語の聞きやすさや課題のまとめやすさで選んで構いません。)

課題	規定・文字数
<u>課題①(日本語)「視聴した ASC 講義の要旨」</u> <ul style="list-style-type: none"><li>● 視聴した ASC 講義動画の冒頭 10 分程度について、内容を日本語で要約して下さい。 詳細な時間は、資料請求後の応募書類のご案内の際、お伝えします。</li><li>● 要約にあたり、応募者の意見・感想は含めなくて下さい</li></ul>	【用紙サイズ】 A4サイズ(縦) 【フォント】 MSゴシック 11pt 【行間】 1.5行 【文字数】 <u>700字以上 850字以内(厳守)</u> ※冒頭に課題番号・表題を記載(文字数には算入しません)
<u>課題②(英語)「講師への質問とその理由」</u> <ul style="list-style-type: none"><li>● 講義後のディスカッションを想定し、聞いてみたい質問一つ英文で記載して下さい。またその質問をしたいと考えた理由を英文で記載して下さい。</li><li>● 対象とする ASC 講義は、課題①で選択した動画と同一のものとしますが、質問は、全編を通じた視聴に基づくものとして下さい。</li></ul>	【用紙サイズ】 A4サイズ(縦) 【フォント】 MSゴシック 11pt 【行間】 1.5行 【文字数】 質問及び理由をあわせ200語程度。 ※冒頭に課題番号・表題を記載 ※質問と理由の間は、空行を入れて下さい

(B) 作文課題

課題	規定・文字数
<p><b>課題③(英語)「これまでの科学の取組み」</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● これまで自分自身の興味から行った科学分野(物理、化学、生物学、数学)の取組みを紹介し、取組みを通して得た、人に伝えたい面白さを英文で記述してください。</li></ul>	<p>【用紙サイズ】 A4サイズ(縦)</p> <p>【フォント】 MS ゴシック 11pt</p> <p>【行間】 1.5行</p> <p>【文字数】 400語程度</p> <p>※冒頭に課題番号・表題を記載</p>
<p><b>課題④(日本語)「将来の取組み」</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 応募者は、下記の URL を参考とし、国連が 2030 年度までの達成目標を掲げる SDGs(持続可能な開発目標)について、17 目標の中から、達成に興味ある目標または将来希望する進路に関係が深い目標の一つを選んで下さい。</li><li>● そして、選んだ目標について、自分のこれまでの体験や身近な日常とつながる課題を見つけ、説明し、解決に向け取組みたい研究テーマ・新技術・活動等を提案して下さい。</li></ul>	<p>【用紙サイズ】 A4サイズ(縦)</p> <p>【フォント】 MS ゴシック 11pt</p> <p>【行間】 1.5行</p> <p>【文字数】 850 文字程度</p> <p>※冒頭に、課題番号・表題、および選択した SDGs 目標を記載。</p>

※ 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は、2015 年 9 月の国連サミットで採択され、国連が 2030 年までの達成を掲げる 17 の目標です。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルな目標として、日本も積極的に取り組んでいます。

また、SDGs の達成において、科学技術イノベーションは、持続可能性に関する諸課題の解決や、より良い政策決定に資する科学的根拠を提供することに、強い期待が寄せられています。

(参考 URL) <https://www.jst.go.jp/pr/intro/sdgs/index.html>

## 応募手順

### (1)書類請求

- ①応募者は、ダウンロードした「アジアサイエンスキャンプ 2018 応募書類・請求フォーム」に必要事項を入力し、派遣事務局 ([intlcamp@jst.go.jp](mailto:intlcamp@jst.go.jp)) まで電子メールに添付してお送りください。
- ②折り返し、派遣事務局より応募書類(提出書類および提出課題)に関する案内を返信します。請求後、2 営業日以上たっても返信が届かない場合、派遣事務局までお問い合わせください。

※応募書類は、書類請求を送信頂いたメールアドレスに返信します。

ご利用のスマートフォンや携帯電話で、迷惑メール対策のため特定ドメイン以外のメールや PC からのメールを拒否するような設定をされている方は、派遣事務局からの返信メールが受信できるよう、自己責任でご対応下さい。

### (2)応募書類の提出

送付された案内に基づき、下記の応募締切までに、応募書類(提出書類および提出課題)を、派遣事務所まで郵送して下さい。

※ 提出は郵送(普通郵便、レターパック、書留等)に限ります。(ゆうメールでは、信書は送付できませんのでご注意ください。)

## 応募受付期間

### 【書類請求の受付期間】

2018 年 4 月 2 日(月)～ 4 月 20 日(金)正午まで

### 【応募締切】

2018 年 4 月 27 日(金) 当日消印有効

※ 締切後の応募書類は受理できませんので返送いたします。余裕をもって送付してください。

## 応募に係る諸注意

- ・ 未成年者は必ず保護者の同意を得た上で応募してください。未成年の参加者は、参加決定後に再度保護者による承諾書の提出が必要です。

## 選考

- ・ 応募書類を厳正に審査し、参加者を決定します。選考結果は、6月上旬に書面通知の予定です。
- ・ 選考過程で事務局より問い合わせをする場合がありますので、応募書類には必ず連絡が付く電話番号と、応募者本人が使用するメールアドレス(携帯のメールアドレスは不可)を記載してください。電話および電子メールにより本人と連絡がつかない場合、参加決定が取り消される場合があります。(PC のメールアドレスを持っていない場合、Gmail や Yahoo メールを無料で取得することができます。)

## 参加費用

無料

※ インドネシア到着後の参加者の滞在に係わる費用(宿泊、食事、交通費)はインドネシアの組織委員会が用意します。ただし、滞在中のクリーニング代など個人的費用が必要な場合は、参加者にご負担いただきます。

※ 参加者の最寄り拠点駅からインドネシアまでの交通をJSTが用意いたします。ただし、最寄り拠点駅までの移動交通費(バス等)が発生する場合は参加者にご負担いただきます。

※ 渡航に関わる海外旅行傷害保険はJSTで加入手配いたします。

## 個人情報の取扱について

ご提供いただいた個人情報は、国立研究開発法人科学技術振興機構(以下「JST という」)における「個人情報保護規則」に基づき、次のように取り扱います。ご応募される方は、以下に記載された内容について同意された上、ご応募くださいますようお願い致します。

- ・ 提供された個人情報は JST が適正に管理します。
- ・ JST に提供された個人情報は、アジアサイエンスキャンプ事業における選考や関連する各種のご案内及び本事業の運営・改善のための申込者の実数・分布等の分析に使用します。個人情報の提供は任意ではありますが、必要な情報が提供されない場合は事業の実施・参加に支障が生じる可能性がありますので、ご了承ください。
- ・ 提供された個人情報に関して、提供者本人(本人が未成年の場合は保護者を含む)から開示請求があった場合、また、開示の結果、訂正、削除等の請求があった場合は、速やかに対応します。
- ・ アジアサイエンスキャンプが終了して一定期間経過後、廃棄いたします。

## その他

- ・ インドネシアへの出入国は日本派遣団としてまとまって行動します。
- ・ 期間中は、現地事務局ならびに引率者の指示にしたがって行動してください。
- ・ 派遣終了後、報告書の作成にご協力いただきます。

## 参考情報

※ これまでに開催されたプログラムや講義風景などがご覧になれます

☆ アジアサイエンスキャンプ2013(日本)ホームページ

<http://www.jst.go.jp/cpse/eng/asc2013/>

☆ アジアサイエンスキャンプ2017(マレーシア)ホームページ

<https://www.asc2017.net/>

## 問い合わせ先

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

理数学習推進部(才能育成グループ)

アジアサイエンスキャンプ派遣事務局

電話:048-226-5665 FAX:048-226-5684

Email: intlcamp@jst.go.jp